

俳句もどき

子どもたちのことばはとても豊かです。
よく聞いていると語のようになるとなっているのです。
五音・七音のことばをリズムよく、……
五や七の音(おん)は、耳にみめらかな日本語
だからでしょうか? そこで子どもたちに
「俳句(五・七・五)を作ろう」といっても簡単に
できるものではありません。
なぜなら 俳句には季語を厳然とまなくては
ならないから。季語を伝えるのは? 俳句を
唱えることは楽しいけれど作るのは……
でも、でも 俳句は生活の詩でもあるのでしょ?
そこで 日常のありふれたできごとを俳句
もどきで楽しんでみました。

今回はおしゃべりでなく
にんげんむすびの七・五を同じ
一句です。

おいしい秋


とうがんのみそ汁 } を食べ?
しその実のてんぷら }
一句

◎あきこさん
おじいとうがん
ありがとう

◎とうがんの
みそ汁をたべて
げんきです

◎さんぷんさん
おしくたへた
しそのみだ

とうがんの
みそ汁をたへた
けきうまだ



スポーツの秋


うんどう会のおに一句

◎うんどうかい
みんながんばれ
ゴールへゴー

◎なわとびを
びゅんびゅんまわして
かんばるぞ

◎かみちようりん
にほんのおどり
すてきだな

◎くみたらそく
うまでおちるな
ふんばろう



うんどう会を お祝い一句

◎うんどうかい
はらったおどった
かんぱった

◎とうがんと
はじめたへた
おいしいな

◎あかちゃん
すすわりで
たまをぶつけて
あかあち

秋の空に一句

◎あかちゃん
すすわり
とんでる
あおいそら

絵本をよんでる先生から一句

◎おんがら
読み聞かせ
子らのまはじし
異次元へ

わが子がお母さんから 姿を見てお母さんから

◎おんがら
我が娘
仲間を
信じて
つばしれ